



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <http://www.vstable.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長

(氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員

(氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	10,563	5.0	70	△60.6	143	△38.3	28	△76.8
26年2月期第3四半期	10,059	0.8	178	△21.2	233	18.2	124	△47.0

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 △2百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 80百万円 (△66.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	10.88	—
26年2月期第3四半期	46.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年2月期第3四半期	5,635		1,074		18.9	400.15
26年2月期	5,193		1,077		20.5	401.00

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 1,064百万円 26年2月期 1,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—		
27年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,371	5.4	314	3.0	345	△19.2	159	△35.1	60.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	2,660,900 株	26年2月期	2,660,900 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	— 株	26年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	2,660,900 株	26年2月期3Q	2,660,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策、財政政策等の効果もあり、引き続き緩やかな景気回復の動きが見られました。しかしながら、消費者マインドの本格的な回復には至らず、依然として、消費動向の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、食の安全に対する社会的な関心がますます強まっていることに加えて、食材価格の高騰、人材確保のための採用コストの増加など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、直営店及びFC店による新規出店を積極的に推進してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、カジュアルレストラン事業が引き続き業績に貢献しましたが、店舗の開業及び改装、新規事業の立ち上げにかかるコストを計上したこと、XEXグループの不振等により、売上高は10,563百万円

(前年同期比5.0%増加)、営業利益は70百万円(同60.6%減少)、経常利益は143百万円(同38.3%減少)、四半期純利益は28百万円(同76.8%減少)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりとなっております。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業でありますXEXグループにつきましては、既存店舗の強化として、平成26年7月に「毛利 Salvatore Cuomo」の全面改装を行い、改装コストを計上いたしました。また、消費税増税の影響に加えて、接待需要が想定より伸びなかったことから一部既存店舗が低調に推移したほか、平成25年4月に直営店「The Kitchen Salvatore Cuomo ROPPONGI」を、同年6月に直営店「LE CHOCOLAT DE H」を閉店したことにより両店舗の売上が剥落しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,671百万円(前年同期比4.5%減少)、営業利益は85百万円(同45.3%減少)となりました。なお、店舗数は直営店11店舗、FC店2店舗となりました。

なお、平成26年8月より「XEX」5店舗のブライダル事業について株式会社エスクリと提携し、運営を委託しております。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、直営店及びFC店の新規出店を進めてまいりました。直営店では、平成26年3月に「SALVATORE CUOMO & BAR 日本橋」及び「Crystal Jade Shanghai BAR 日本橋」、同年4月に

「SALVATORE CUOMO & BAR 新潟」、同年7月に「鉄板焼きとワイン AG 北新地」、「PIZZA SALVATORE CUOMO 三井アウトレットパーク木更津」及び「SALVATORE CUOMO & BAR 町田」を、FC店では、平成26年3月に「SALVATORE CUOMO&BAR 万座ビーチ」、同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 柏の葉」、同年10月に「SALVATORE CUOMO & BAR 福山」を出店いたしました。また、平成26年11月に「PIZZA SALVATORE CUOMO 中野」を閉店いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は6,886百万円(前年同期比10.9%増加)、営業利益は771百万円(同5.9%増加)となりました。また、店舗数は直営店40店舗、FC店34店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は5百万円(前年同期比10.1%増加)、営業損失は14百万円(前年同期は営業損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加122百万円、売掛金の増加65百万円等によるものです。固定資産は3,113百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加いたしました。これは主として、建物の増加234百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,635百万円となり、前連結会計年度末に比べ441百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ546百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加158百万円、短期借入金の増加222百万円等によるものです。固定負債は1,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の減少213百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,561百万円となり、前連結会計年度末に比べ444百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主として、四半期純利益の計上28百万円、為替換算調整勘定の減少31百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は18.9%（前連結会計年度末は20.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月8日に公表いたしました平成27年2月期通期連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,448	1,271,608
売掛金	550,406	615,482
原材料及び貯蔵品	252,857	293,232
繰延税金資産	147,620	124,332
その他	229,955	222,460
貸倒引当金	△4,560	△4,981
流動資産合計	2,325,729	2,522,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,684,075	1,918,351
その他(純額)	272,374	309,966
有形固定資産合計	1,956,450	2,228,318
無形固定資産		
のれん	267,671	235,550
その他	56,512	54,957
無形固定資産合計	324,183	290,508
投資その他の資産		
敷金及び保証金	561,325	583,791
繰延税金資産	16,281	-
その他	22,939	23,725
貸倒引当金	△13,345	△13,044
投資その他の資産合計	587,201	594,472
固定資産合計	2,867,835	3,113,300
資産合計	5,193,564	5,635,435
負債の部		
流動負債		
買掛金	609,866	768,088
短期借入金	874,224	1,096,290
未払金	697,109	831,310
未払法人税等	58,659	14,586
ポイント引当金	17,491	21,881
株主優待引当金	40,376	31,690
その他	307,192	387,585
流動負債合計	2,604,920	3,151,432
固定負債		
長期借入金	910,160	696,752
繰延税金負債	5,800	34,791
資産除去債務	431,102	450,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
その他	164,499	227,889
固定負債合計	1,511,562	1,409,567
負債合計	4,116,482	4,561,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△516,448	△487,491
株主資本合計	1,212,609	1,241,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	41
為替換算調整勘定	△145,588	△176,849
その他の包括利益累計額合計	△145,578	△176,808
少数株主持分	10,050	9,676
純資産合計	1,077,081	1,074,435
負債純資産合計	5,193,564	5,635,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	10,059,170	10,563,469
売上原価	8,457,063	8,952,179
売上総利益	1,602,106	1,611,290
販売費及び一般管理費	1,424,093	1,541,079
営業利益	178,013	70,210
営業外収益		
受取利息	331	350
協賛金収入	27,842	40,026
為替差益	51,405	40,458
その他	15,936	28,598
営業外収益合計	95,516	109,434
営業外費用		
支払利息	33,339	32,370
支払手数料	4,761	-
その他	2,251	3,296
営業外費用合計	40,353	35,666
経常利益	233,176	143,978
特別利益		
保険差益	11,104	-
固定資産売却益	-	863
特別利益合計	11,104	863
特別損失		
固定資産除却損	1,429	2,545
減損損失	2,985	12,341
店舗閉鎖損失	19,178	1,414
特別損失合計	23,594	16,300
税金等調整前四半期純利益	220,686	128,541
法人税、住民税及び事業税	33,477	31,761
法人税等調整額	62,875	68,545
法人税等合計	96,353	100,306
少数株主損益調整前四半期純利益	124,333	28,235
少数株主損失(△)	△599	△721
四半期純利益	124,933	28,957

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	124,333	28,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	31
為替換算調整勘定	△43,607	△30,912
その他の包括利益合計	△43,569	△30,881
四半期包括利益	80,763	△2,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,363	△2,272
少数株主に係る四半期包括利益	△599	△373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,845,620	6,208,610	10,054,231	4,939	10,059,170	—	10,059,170
セグメント間の内部売 上高又は振替高	866	21,994	22,861	—	22,861	△22,861	—
計	3,846,487	6,230,604	10,077,092	4,939	10,082,031	△22,861	10,059,170
セグメント利益 又は損失(△)	157,231	728,029	885,260	△5,265	879,995	△701,982	178,013

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△701,982千円には、セグメント間取引消去額771千円、各セグメントに配分していない全社費用△702,753千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,671,396	6,886,634	10,558,030	5,438	10,563,469	—	10,563,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31	31	239	270	△270	—
計	3,671,396	6,886,665	10,558,061	5,678	10,563,739	△270	10,563,469
セグメント利益又は損失(△)	85,960	771,277	857,238	△14,711	842,527	△772,316	70,210

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△772,316千円には、セグメント間取引消去額752千円、各セグメントに配分していない全社費用△773,068千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しております。